



【環境】キャラクター「ちつきゅん」



今できることから始めよう!
～「環境首都・SAPP_RO」を目指して～

「さっぽろっ子環境ウイーク」における SDGsアクション

宣言

「給食に関わる取組を通して、食べ物への関心を高め、
食品ロスをへらす」

SDGsアクション

「給食ビンゴで給食の魅力を発信」

給食委員会の5・6年生が給食や食べ物に親しみ、楽しみながら興味関心を高めることを目的として「給食ビンゴ」に取り組んだ。給食時間に、給食委員会による3択クイズを放送した。

〈クイズ例〉 カレーはどこの国で生まれた料理でしょうか？

- ① アメリカ
- ② インド
- ③ ドイツ

クラスごとに多数決で回答をひとつ決定し、正解した場合は該当するマスに○をつけてビンゴを進めた。

児童はクイズに意欲的に参加し、料理や食材について話し合いながら答えを選んだ。食べ物の背景について調べたり、友達と意見を出し合ったりする姿が見られた。

成果

クイズを通して、各料理のルーツや食材の特徴、栄養などに興味をもつ児童が増え、給食時間の学びが深まった。ビンゴ形式にしたことで、子どもたちが楽しみながら進んで参加する姿が見られた。「今日こそビンゴをそろえたい」「クイズに正解したい」という気持ちが、自然と食材への興味につながった。「食品ロスをへらす」ことについて、児童が自分ごととして考えるきっかけとなった。

次年度の取組に向けて

3学期には、給食川柳の取組も行った。放送を聞いて、「自分も給食の魅力を発信したい。」と考えて委員会に入った子もいる。次年度もこうした取組を継続することで、給食への関心を高め、食品ロスを減らしていければと考えている。

12 つくる責任
つかう責任

